事業番号	02 05	02	事業改善シ	ート(30年度実施	事業分)	口当初	■当初	予算案	口補正予算案	□点検	
事業名	独	道振興対策事業費		部局 企画振興		長興部	課・室	交通政策			
# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	<u> </u>	<u>以但似央</u> 对从事未有				実施期間	$\mathbb{S}42 \sim \mathbb{E}\text{-mail}$		-mail	kotsu@pref.nagano.la	
				総合5か年計画(しる	あわせ信州創造	プラン2.0)					
総合的に展開	引する 3-8 生	上活を支え	える地域交通の確	:保	5-1	多様性を尊	重する	共生社会	づくり		
重点政策			部広域交流圏の飛								
1 事業の根	既要										

現状	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、少子高齢化やモータリゼーションの進展などの影響により旅客輸送人員が減少し、鉄道事業者の自助努力のみでは県内鉄道路線を維持し、駅舎のバリアフリー化など時代の新たな要請に対応してサービス向上を図ることが困難となっている。	30年度予算額	179,612 千円
(予算編成時)	○北陸新幹線は平成9年10月に高崎・長野間が、平成27年3月に長野・金沢間が開業した。また、平成24年に着工された金沢・敦賀間については平成34年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間のルートについては、平成29年3月に全区間が決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。	職員数	3.00 人

目指す姿

○地域の鉄道路線活性化のための取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対して支援することにより、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道路線の維持と機能向上を目指す。

○北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。

(主な実施内容:鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、視覚障がい者の鉄道駅ホームからの転落防止のために設置する内方線付き点状ブロック整備に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動 など)

	区:	分(単位:千円)	28年度	29年度	30要求	30予算案	指標及びその達成状況									
		前年度繰越	51,986	20,000			No	成果指標	28年度末	29年度末	30年度					
	予算	当初予算	192,098	161,539	179,612	179,612		以木伯倧	20千及木	(見込)	目標値	成果	達成状況			
事	額	補正予算	△ 41,753				(T)	県内鉄道キロの維持	780.1km	780.1km	780.1km					
業		合計(A)	202,331	181,539	179,612	179,612	1	県内鉄道キロの維持	100.1KIII	700.1KIII	700.1KIII					
未		一般財源	156,301	109,509	131,562	131,562	(2)	鉄道施設の老朽化、設備不良	0件	0件	O件					
⊐	Aの	県 債	46,000	72,000	48,000	48,000	۵	に起因する重大事故の発生								
ス	財源	国庫支出金					(3)	内方線付き点状ブロック整備	2駅	3駅	5駅					
		その他	30	30	50	50	0	③ 駅数 (平均利用者数10,000人/日以上の駅)	乙刚、	の測人	り別人					
۲	決	算 額(B)	175,425													
	概算人件		3.00	3.00	3.00	3.00										
	費	概算人件費(C)	23,742	23,742	23,742	23,742										
	概算	事業費(B(A)+C)	199,167	205,281	203,354	203,354										

成果指標 設定理由 ①・②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定 ③H30年度までに1日の利用者10,000人以上の駅については内方線付き点状ブロックを整備するという国の方針を達成するため、内方線付き点状ブロック整備駅数を成果指標に設定

指摘事項等への対応	指摘事項	対 応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		
予算要求からの主な変更点	要求どおり	

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	30年度 実施内容		職員数	29年度	30年度			
INC	和 争 未 位	30年度 美胞內谷			(当初)	(要求)	(予算案)		
1	鉄道振興対策事業費	①地域鉄道事業者が行う安全性向上のために必要 対する補助金 ②鉄道事業者が行う鉄道駅における内方線付き点料 設置に対する補助金 ③在来線を活性化するために沿線市町村等で組織 盟会の負担金	状ブロック等の	2.00	159,739	177,812	177,812		
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進に向けて沿線都府県等で組織 盟会の負担金	1.00	1,800	1,800	1,800			
			合計	3.00	161,539	179,612	179,612		

事業改善シート附表

事業番号 02 05 02		鉄道振興対策事業費	鉄道振興対策事業費							交通政策課			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
細事業			実施方法			304次	28年度	29年度		30年度			県民協働事業改善備考		
神争未 No	細事業名	項目		30年度 実施内容	30年度 実施内容 30年度 実施内容 (実績) 実施	当初 (千円)	当初	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算 (千円)	実施 年度	主な点検 区分結果	(H29事業 番号)	
1	鉄道振興対策事業費	地域鉄道安全性向上事業費補助金		鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対し て補助を行う 【補助率:国1/3、県1/6、市町村1/6】			169, 948	139, 389	171, 129	171, 129					020502
1	鉄道振興対策事業費	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	視覚障がい者の旅客駅ホームからの転落防止を図るため、必要な内方線付き点状プロックの整備に対して補助を行う 【補助率:国1/3、県1/6、市町村1/6】			20, 000	20, 000	6, 333	6, 333					020502
1	鉄道振興対策事業費	大糸線利用促進輸送強化期成同盟 会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			150	150	150	150					020502
1	鉄道振興対策事業費	中央東線高速化促進広域期成同盟 会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			200	200	200	200					020502
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動 (春、秋) ・建設促進に関する調査研究及び広報等			1, 800	1, 800	1, 800	1, 800					020502
		合 計					192, 098	161, 539	179, 612	179, 612	0	0			1